

日程表

第1日目 2月27日(金)

開始時間	プログラム
8:55	開会挨拶
9:00	会長講演 「緑膿菌・グラム陰性菌感染症の克服に向けて―検査・治療・研究の新たな展開―」 共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
9:35	スポンサードシンポジウム1 「サイレントパンデミック時代の AMR 対策：臨床での実践を考える」 共催：ファイザー株式会社 メディカルアフェアーズ
11:00	スポンサードシンポジウム2 「持続可能な抗菌薬開発と感染症対策 ～研究・臨床・環境整備～」 共催：Shionogi 産官学連携部
12:30	ランチョンセミナー1 「薬剤耐性グラム陰性菌感染症の診療」 共催：バイオメリュー・ジャパン株式会社
13:25	総会・みのるメモリアル受賞講演
14:50	特別講演1 「腸炎ビブリオの病原性機構と宿主適応戦略」
15:45	教育セミナー1 「グラム陰性菌感染症の不思議とレスピラトリーキノロンの可能性」 共催：杏林製薬株式会社
16:20	スイーツセミナー 「グラム染色が切り拓く感染症診療の新しいスタンダード ― 臨床連携と AI・自動化による実装 ―」 共催：株式会社 GramEye
17:15	スポンサードシンポジウム3 「緑膿菌・グラム陰性菌感染症診療における検査の活用を考える」 共催：株式会社島津製作所
18:50	懇親会(長崎大学医学部 生協食堂)

日程表

第2日目 2月28日(土)

開始時間	プログラム
8:20	モーニングセミナー 「次世代シーケンス技術を用いた感染症原因微生物検索の臨床的意義 ～グラム陰性菌を中心に～」 共催：APG アジア準訳ジャパン
9:15	特別講演2(本部会長講演) 「コロナパンデミックから何を学ぶか ～サイレントパンデミック AMR 問題を含めて～」 共催：アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社
10:00	教育セミナー2 「起因菌検出を臨床につなぐための同定判断 ～市中病院微生物検査室における実践と課題～」 共催：ベックマン・コールター株式会社
10:35	緑膿菌・グラム陰性菌感染症研究会 海外学会参加サポート事業 受賞者報告
11:45	ランチョンセミナー2 「微生物検査における細菌同定用質量分析装置：Autof ms2600の有用性」 共催：株式会社医学生物学研究所
12:40	【ポスター会場】 良順会館 専斎ホール 一般演題1 一般演題2
13:45	スポンサードシンポジウム4 「CRE 感染症を考える」 共催：Meiji Seika ファルマ株式会社
15:10	若手研究者シンポジウム 「グラム陰性菌の巧みな生存戦略に迫る」
16:20	閉会挨拶